



# アサリ

主な漁業と漁期

おかがき・ながえ：周年

## 生態

アサリは我が国を代表する二枚貝であり、干潟や浅海域の重要な漁業資源として知られています。

### ●分布

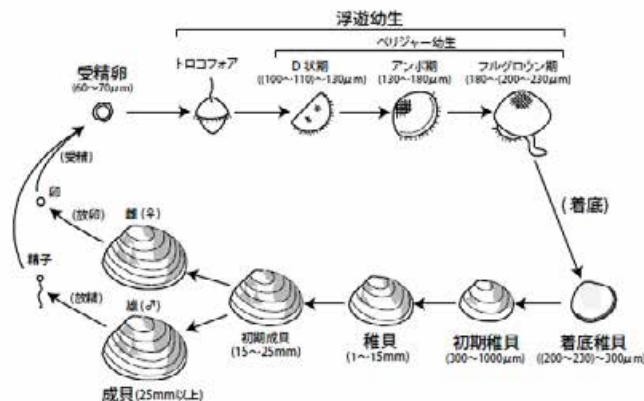
サハリンから日本、朝鮮半島、中国の沿岸に分布し、潮間帯から水深10m程度の砂泥底に生息しています。

静岡県沿岸にも広く分布していますが、まとまった生息域としては浜名湖が有名です。

### ●成長・産卵

成長速度は生息環境や成長段階(年齢)によって異なることが知られており、浜名湖では殻長20mmに達するまでに概ね1年前後かかります。

浜名湖に生息するアサリの産卵期は、春と秋の年2回あります。また春は、漁獲されるアサリの身入りが良いことから旬とされています。



アサリの生活史

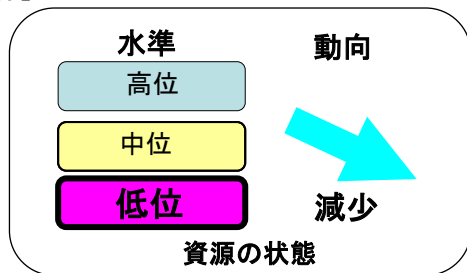
(藤井 2010,環境管理39号より引用)

### ●初期生活史

親貝は海水中に放卵・放精し、受精卵を経て孵化した幼生は2~4週間の浮遊生活を送ります。浮遊幼生は、体の構造を変えながら着底期を迎え、干潟などに着底して底生生活に入ります。

## 漁業・資源動向

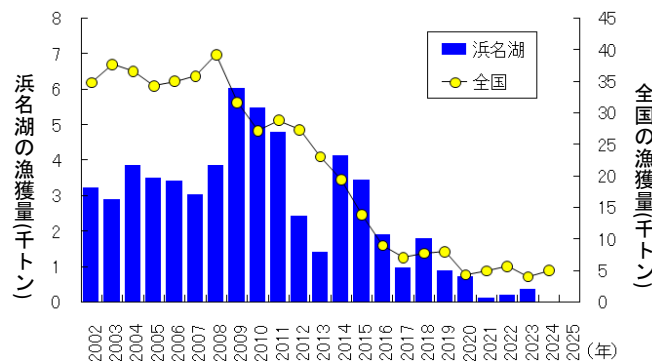
### 【資源】



浜名湖のアサリ資源状況を把握するため、2015年から湖内のアサリ主漁場における資源調査を実施しています。その結果や過去5年間の平均漁獲量を比べ、資源水準は低位、動向は減少と判断されます。

### 【漁獲量】

- 1 本県(浜名湖)のアサリ漁獲量は、1982年に7,832トン記録しましたが、以降は全国と同様に減少傾向にあり、1992~2000年は2~3千トンで推移していました。
- 2 2001年以降は増加傾向となり、2009年には6千トンを超えましたが、その後は増減しながら、全国同様に再び減少傾向となっています。直近では、2024年に0.18トンまで落ち込み、2025年は初めて年間を通じて漁獲が全くありませんでした。



浜名湖と全国のアサリ漁獲量の推移

### 【資源管理】

浜名漁業協同組合は、浜名湖のアサリ資源の厳しい現状を踏まえて、2026年3月から潮干狩りを全面的に禁止する措置を講じています。

また、資源保護のため、漁業者は被覆網や囲網によるクロダイの食害対策など、アサリ資源の回復に努めています。

担当者の一言：春の風物詩、浜名湖のアサリ。資源保護活動を通じて、再び皆様にお届けできる日を目指します。

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場 053-592-0139